



## 春を呼ぶ一休さんの言葉

### 「人も我が身も よそならず」

今年の冬は1月2月と気温が低かったですね。もう春分なので、これから少しずつ暖かさが増して来るでしょう。今年の寒さは気温の他に、インフルエンザの流行も寒さを増幅させたのだと思います。そして極め付けは物の値上がりです。

食品や生活必需品の多くが値上げになりました。ガソリンが一時1L170円を超えたり、多くの食品が値上がり、或いは内容量を減らしています。春なのに本当に寒い世の中になったものです。心も懐も冷え冷えしています。しかし冬来たりなば、春遠からじという言葉がある様に、厳しい冬があってこそ春の暖かさが身に染みます。

いよいよ4月、桜の開花を迎え、5月にはばら祭りがあります。ばら公園、緑町公園が近くにあるせいか、福山の春はばら祭りが来ないと始まりません。伝統の行事自体は新型コロナで縮小、簡略化されるかもしれませんが、心の中で大いに春を満喫したいものです。

トンチで有名な一休さんに「思い入れば 人も我が身も よそならず 心の他に 心なければ」(水鏡47)という言葉があります。自分も他人もよそごとではないということです。今の時季になると必ず頭に浮かぶ言葉です。人との関わりを語る上でとても含蓄のある言葉だと思います。

疲れている時に「頑張っているね」と言葉をかけてもらおうと、何げない一言でも頑張りを認められた様で、心が救われます。誰もが人との関わりを大切にして、少しでも力になれる言葉を掛けられたらいいですね。「人も我が身も よそならず」他人はもちろん家族とも共有したい言葉だと思います。

令和5年3月21日



## 春を呼ぶ一休さんの言葉

### 「人も我が身も よそならず」

去年は全国的にコロナの感染拡大や交通事故、バスの置き去りなど子供のニュースが多く報道された年でした。ニュースが報道される度に、悲しくなったり、不安に思ったりしたのは私だけではなかったと思います。今年はそのようなことがないよう、全ての子供達が笑顔で幸せに過ごせるよう心から願っています。

今年は卯年です。うさぎは跳躍する姿から飛躍や向上を象徴するものとして親しまれています。またうさぎはおとなしく、穏やかなイメージから安全の象徴とも言われています。そんなうさぎのイメージのように、花園保育園が子供達や保護者の皆様にとって、安全で穏やかな居場所となるよう、新年度も保育の向上に努めていきたいと思えます。

トンチで有名な一休さんに「思い入れば 人も我が身も よそならず 心の他に 心なければ」(水鏡47)という言葉があります。自分も他人もよそごとではないということです。今の時季になると必ず頭に浮かぶ言葉です。子供を育てる上でとても含蓄のある言葉だと思います。新入園や

進級した子供の不安な顔や緊張した顔を見ると、「人も我が身もよそならず」という気持ちになります。職員はもちろん保護者の皆様とも共有したい言葉だと思います。



園だより令和5年4月号 再録 花園保育園 (K)